

令和7年度

全国知的障害関係施設長等会議

開催要綱

テーマ

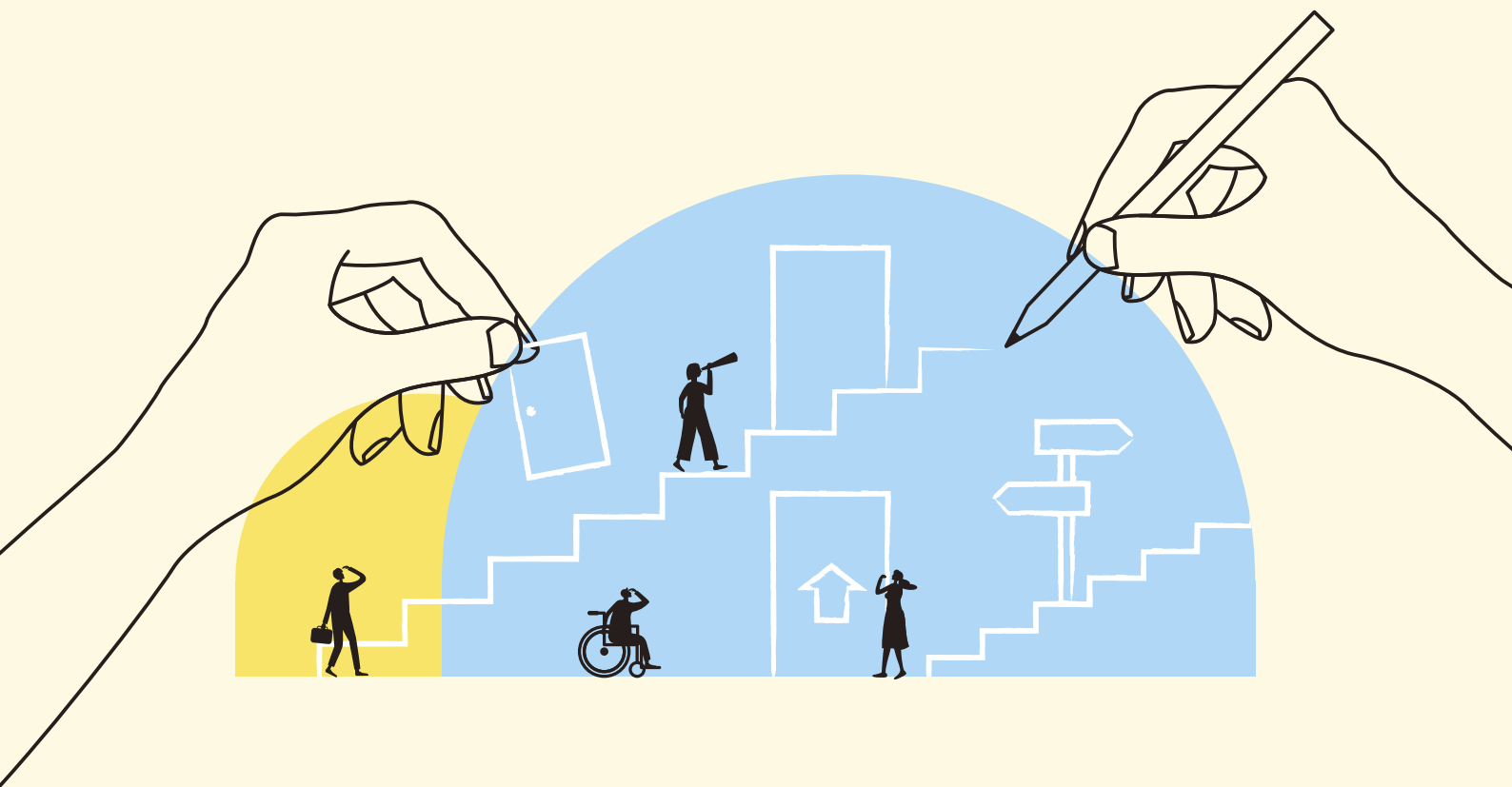
障害福祉の未来と展望

——質の高い障害福祉サービスの提供のために——

会 期 | 2025年7月10日(木)～11日(金)

※対面集合のみの開催となります。

会 場 | 東京国際フォーラム ホールA他



障害福祉の未来と展望

——質の高い障害福祉サービスの提供のために——

本会では、障害のある人の望む暮らしの実現に向けた居住支援の在り方についてかねてより検討を行っており、昨年度「これからの居住支援の在り方についての提言」を国に提出し意見交換を行いました。本年度は国において障害者支援施設の在り方の検討が本格的に行われることから、本会では障害のある人のより良い居住支援を具体化すべく、対応を図っていくこととしています。

一方、社会経済情勢がインフレ局面へと大きく変化している中、物価や賃金の上昇に障害福祉サービス等

報酬改定が追いついておらず、質の高い障害福祉サービスの提供が危ぶまれています。

こうした中、障害福祉の現場で働く人たちが福祉の未来に希望を持って展望できるよう、本会議は「障害福祉の未来と展望——質の高い障害福祉サービスの提供のために——」をメインテーマに、障害のあるこどもの支援や居住支援の在り方、地域における社会福祉法人の役割の再確認、人材確保等について共有し未来に向けて前進する機会といたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁

(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会、(一社)全国児童発達支援協議会、(社福)全国社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会、(公社)全国脊髄損傷者連合会、(特非)全国地域生活支援ネットワーク、(一社)全国知的障害者施設家族会連合会、(一社)全国手をつなぐ育成会連合会、障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会、(一社)日本自閉症協会、(公社)日本重症心身障害福祉協会、(特非)日本障害者協議会、(公社)日本精神科病院協会、(特非)日本相談支援専門員協会、(一社)日本発達障害ネットワーク、(公社)日本発達障害連盟、(一社)全日本自閉症支援者協会

【略称】社福：社会福祉法人、公社：公益社団法人、一社：一般社団法人、特非：特定非営利活動法人

会期

2025年7月10日(木)～11日(金)

※対面集合のみの開催となります。

会場

東京国際フォーラム ホールA他

(東京都千代田区丸の内3-5-1)

参加対象

- 障害福祉施設・事業所の長
- 障害福祉施設・事業所の中堅幹部職員
- 社会福祉法人等役員
- その他

参加費(税込)

会員：22,000円／一般：33,000円

※会議当日に会場受付にて資料を配布します(欠席者には後日送付)

申込み受付期間

会員：2025年5月8日(木)～6月25日(水) 正午

一般：2025年6月2日(月)～6月25日(水) 正午

定員

2,500名

プログラム・登壇者は諸事情により変更になる場合があります。

7/10 木 全体会

11:15	12:00	12:50	13:40	14:10	15:00	15:20	16:40
受付	開会式・授賞式	行政説明I	行政説明II	基調講演	休憩	鼎談	

プログラム

11:15	受 付	15:00	休 憩
12:00	開会式 授賞式 ・愛護福祉賞 ・日本知的障害者福祉協会 会長賞	15:20	鼎 談 障害福祉の未来と展望 ——これからの居住支援の在り方—— 登壇者 ----- 小澤 温 長野大学社会福祉学部 教授 久木元 司 日本知的障害者福祉協会政策委員会 委員長 社会福祉法人常盤会 理事長 榎本博文 日本知的障害者福祉協会 副会長(障害者支援施設部会 部会長) 社会福祉法人ひまわり福祉会 常務理事
12:50	行政説明I 伊藤洋平 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長		
13:40	行政説明II 小野雄大 こども家庭庁支援局障害児支援課 課長		
14:10	基調講演 「障害福祉の未来と展望」(仮題) 松端克文 武庫川女子大学心理・社会福祉学部 教授	16:40	

(敬称略)

7/11 金 分科会 4分科会

9:00	9:30		15:00
受付	午前の部	昼休憩 (1時間)	午後の部

※各分科会のプログラムをご確認ください。

分科会テーマ

- 第1** 分科会
 こどもの支援 ——地域に求められる障害児支援の役割——
- 第2** 分科会
 共生社会の実現に向けた居住支援の役割と機能
- 第3** 分科会
 地域共生社会における社会福祉法人の役割
 ——地域づくりの担い手としての社会福祉法人のイノベーション——
- 第4** 分科会
 障害福祉の魅力発信と他業種からの人材活用

第1分科会

こどもの支援 ――地域に求められる障害児支援の役割――

発達に困り感のあるこどもが増え、地域の中でもこどもへの支援、家族支援、関係機関への支援がより一層求められています。また、障害児支援がこども家庭庁の所管となったことにより、こども施策全体の中での障害児支援の役割はますます重要となっています。

本分科会では、未来に向けて障害児支援にどのようなことが地域から求められているのか、関係機関の連携も含めた在り方を学び、論議する機会とします。



プログラム

9:30	趣旨説明 北川聡子 日本知的障害者福祉協会副会長(児童発達支援部会 部会長) 社会福祉法人麦の子会 理事長	12:30	昼休憩
9:35	行政説明 「障害児支援のこれからの在り方」 鈴木久也 こども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐	13:30	談 論 地域に求められる障害児支援の役割 論 者 鈴木久也 こども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐 松井剛太 香川大学教育学部 准教授 堀 淨信 社会福祉法人光明童園 理事長 寶子丸周吾 社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 理事長 渡辺美南子 社会福祉法人ひかりの家ひかりの家学園 園長 司 会 北川聡子 日本知的障害者福祉協会 副会長(児童発達支援部会 部会長) 社会福祉法人麦の子会 理事長
10:25	講演I 「インクルーシブ保育における障害児支援の役割」(仮題) 松井剛太 香川大学教育学部 准教授	15:00	
11:25	講演II 「地域に根ざした施設づくりとこれからの障害児入所施設」 堀 淨信 社会福祉法人光明童園 理事長		

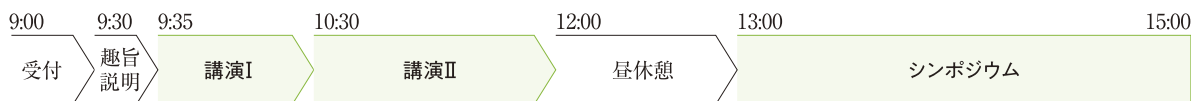
(敬称略)

第2分科会

共生社会の実現に向けた居住支援の役割と機能

昨年度、本会が国に提言した「これからの居住支援の在り方についての提言」の実現に向けた取り組みや、国における障害者支援施設の在り方に関する検討の本格化など、障害のある人の居住支援については、大きな局面を迎えようとしています。

本分科会では、障害のある人の居住支援について、ともに生きて行くための社会的障壁に関する課題を共有し、これまでの施設入所支援や地域生活支援の「実践」を通して、地域共生社会が実現する未来に向けて必要な障害福祉サービスや地域の仕組みづくりについて共有し、議論を深めます。



プログラム

9:30	趣旨説明 榎本博文 日本知的障害者福祉協会 副会長(障害者支援施設部会 部会長) 社会福祉法人ひまわり福祉会 常務理事	13:00	シンポジウム 障害福祉サービスにおける実践の重要性とは ――障害者支援施設における居住選択のための実践的課題―― シンポジスト 木村勝也 社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 法人本部 事務局長 大垣勲男 社会福祉法人伊達コスモス21 理事長 清水清康 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園施設事業局生活支援部生活支援・ 特別支援課 課長 助言者 相馬大祐 長野大学社会福祉学部 准教授 進 行 榎本博文 日本知的障害者福祉協会 副会長(障害者支援施設部会 部会長) 社会福祉法人ひまわり福祉会 常務理事
9:35	講演I 「障害のある人の望む暮らしの実現に向けた 本会の取り組みを振り返って」 井上 博 日本知的障害者福祉協会 顧問	15:00	
10:30	講演II 「これからの障害者支援施設の機能と役割」(仮題) 相馬大祐 長野大学社会福祉学部 准教授		
12:00	昼休憩		

(敬称略)

第3分科会

地域共生社会における社会福祉法人の役割

——地域づくりの担い手としての社会福祉法人のイノベーション——

高齢者人口がピークに達し、生産年齢人口が激減するいわゆる「2040年問題」への対応が、社会福祉法人のみならず地域社会の将来を展望するうえで大きな課題となっており、新たな地域のニーズや地域課題が顕在化しています。日々変容していく課題に対し、社会福祉法人に求められている役割を確認し、具体的な行動に移していくことが求められていることから、本分科会では、地域課題の解決に向けて取り組んでいる社会福祉法人の事例を共有し、福祉サービス提供体制の維持・継続について考察します。

9:00	9:30	9:35	11:05	11:55	12:55	13:40	15:00
受付	趣旨説明	事例発表	講演Ⅰ	昼休憩	講演Ⅱ	談論	

プログラム

9:30	趣旨説明 武元典雅 日本知的障害者福祉協会 副会長 社会福祉法人御陽会 理事長	12:55	講演Ⅱ 「地域共生社会における社会福祉法人の役割」 久木元 司 日本知的障害者福祉協会政策委員会 委員長 社会福祉法人常盤会 理事長
9:35	事例発表1 藤田春芳 社会福祉法人奥州いさわ会 理事長	13:40	談 論 地域共生社会における社会福祉法人の役割 ——地域づくりの担い手としての社会福祉法人のイノベーション——
10:05	事例発表2 宮里祐史 社会福祉法人和順会 理事長		参加者 藤田春芳 社会福祉法人奥州いさわ会 理事長 宮里祐史 社会福祉法人和順会 理事長 田中正哉 社会福祉法人高知県知的障害者育成会 ライフサポートかがみの 管理者
10:35	事例発表3 田中正哉 社会福祉法人高知県知的障害者育成会 ライフサポートかがみの 管理者		助言者 松原由美 早稲田大学人間科学学術院 教授
11:05	講演Ⅰ 「2040年に向けたサービス提供体制の在り方」(仮題) 松原由美 早稲田大学人間科学学術院 教授		進 行 武元典雅 日本知的障害者福祉協会 副会長 社会福祉法人御陽会 理事長
11:55	昼休憩	15:00	

(敬称略)

第4分科会

障害福祉の魅力発信と他業種からの人材活用

生産年齢人口の減少により、人材確保が困難な状況の中、増大する福祉ニーズに応えるためには、年齢・性別・国籍・障害の有無を問わず、全世代による力を必要としています。

本分科会では、若手職員の発想や活躍によって「福祉の魅力」を発信し、人材確保の好循環を生み出している法人運営の事例や、長年、企業就労をしてきた人が福祉の仕事に活躍の場を移し、現場の活力となっている事例を通して、これからの人材確保の在り方について議論を深めます。

9:00	9:30	9:35	10:20	11:05	11:50	12:50	15:00
受付	趣旨説明	講演Ⅰ	講演Ⅱ	講演Ⅲ	昼休憩	シンポジウム	

プログラム

9:30	趣旨説明 樋口幸雄 日本知的障害者福祉協会 会長 社会福祉法人京都ライフサポート協会 理事長	11:50	昼休憩
9:35	講演Ⅰ 「企業・シニア層を福祉分野へ」(仮題) 蒲原基道 日本社会事業大学社会福祉研修センター 客員教授 元厚生労働事務次官	12:50	シンポジウム 障害福祉の魅力発信と他業種からの人材活用 ——人材の確保と定着の好循環に向けて——
10:20	講演Ⅱ 「福祉人材確保に向けた取り組みについて」 吉田昌司 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 室長		シンポジスト 里見吉佑 社会福祉法人佑啓会 常務理事 大谷健太 社会福祉法人陽気会よろこび荘 管理者 池口武志 一般社団法人定年後研究所 理事・研究所長 樋口幸雄 日本知的障害者福祉協会 会長 社会福祉法人京都ライフサポート協会 理事長
11:05	講演Ⅲ 「企業からの転職プロジェクトについて」(仮題) 野澤和弘 植草学園大学 副学長		司 会 野澤和弘 植草学園大学 副学長
		15:00	

(敬称略)

お申し込みから参加までのご案内

令和7年度全国知的障害関係施設長等会議は、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターが運営する本会議専用特設サイトにて参加申込を受け付けます。下記URLにアクセスし、必要事項を入力しお申し込みください。

なお、今年度の本会議は、対面集合のみでの開催となります。参加を希望される方は、内容・参加費・お申込み受付期間などをご確認いただき、期間内にお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

参加申込特設サイト

<https://www.mwt-mice.com/events/aigo2025>

会期

2025年7月10日(木)～11日(金)

会場

東京国際フォーラム ホールA他

参加費(税10%込み)

会員:22,000円／一般:33,000円

受付期間:

会員:2025年5月8日(木)～6月25日(水)正午

一般:2025年6月2日(月)～6月25日(水)正午

※受付期間後のお申込み・参加取消は一切お受けできません。期間内にお申し込みを確定ください。
※受付期間内であれば申込サイト内で参加取消が可能です。(請求書ダウンロード以後はご自身で取消操作ができませんので、お問い合わせフォームより名鉄観光サービス株式会社へご連絡ください。)

お申し込み・ 請求書発行の手順

- ① 参加申込特設サイト <https://www.mwt-mice.com/events/aigo2025> にアクセス
- ② 「新規お申し込みはこちら」をクリックし、「個人情報の取り扱いについて」を確認
- ③ 「お申し込み連絡担当者情報入力画面」より入力フォームに従って必要な情報を入力
- ④ 入力内容を確認し、参加登録
- ⑤ マイページ内の「お支払い」タブから、画面下部の「次へ進む」をクリックし、「請求書発行」から請求書をダウンロード

登録には「施設コード」(6桁の数字)が必要です。
本要綱の送付封筒の宛名シールや本会の会員名簿でコードをご確認ください。

6月27日(金)までに参加費をご入金ください

**「参加券」を、6月30日(月)以降に
名鉄観光サービスの特設サイトのマイページよりダウンロード**

※今年度より参加券の発送を行わないことといたしました。恐れ入りますが、参加者ご自身で本会議当日までにマイページよりダウンロード・印刷し、ご持参ください。参加券は、A4片面印刷とし「全体会参加券」「分科会参加券」それぞれご準備ください。

東京国際フォーラムで会議に参加(7月10(木)～11日(金))

- マイページよりダウンロード・A4(片面)に印刷した参加券を受付にご提示ください。
- 参加券と引き換えに受付にて資料を配布します。
- 欠席者には後日資料を送付します。

参加申し込みに関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター

令和7年度 全国知的障害関係施設長等会議申込受付係

TEL:03-3595-1121 / FAX:03-3595-1119

受付時間 10:00～17:00(土・日・祝日は休業) 担当:木村・柴田・波多野



会議内容に関するお問い合わせ(開催事務局)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

全国知的障害関係施設長等会議担当:柘植・水内

TEL:03-3438-0466(代表)